

## 2002年対策委員会では、完全学校週5日制の実施に伴い、次のような計画を進めています。

### 中学校

新しく中学1年生なる生徒は、新たにできる地域クラブ、または中学校の部活動と選択することができますようになります(選択制部活動)。

中学2・3年生は今までどおりの中学校の部活動に参加することになります。



現在の中学校での部活動の風景。4月から新1年生の部活動は中学校で行われている部活動と新たにできる地域クラブとの選択制になります。

### 小学校

小学校1年生～6年生は新しくできる地域クラブに選択制で入ることができるようになります。

また、小学校低学年を中心とした、学校施設を使用した軽スポーツ、文化、芸術活動が行えるチャレンジ教室(仮称)づくりに向けて準備をします。

この教室は、学校、PTAや地域の皆さんを中心として活動していくことになります。

すでに活動を始めているところもあります。4月からPTAが中心となって活動を始めた下米田の「米田っ子」広場、体育指導員から新しい軽スポーツ(ベタンク)を教わり、実際に子どもたちが行っているところ。



\*詳しくは学校、教育委員会へお尋ねください。

完全学校週5日制は、子どもたちだけの問題ではありません。家庭、地域、学校が一体となってこのことに取り組んでいく必要があります。

土曜日が全て休みになることで、子を持つ親としては、正直なところ「どうしよう」と思っている家庭が多いと思います。

一度、親子で一緒にどのように過ごしたらいいか考えてみてはいかがでしょうか。

## 文化、スポーツのサークルを指導している人から見た完全学校週5日制とは？

### ベルサークル講師 角田輝美さん

去年の10月に文化会館の子ども講座として開講し、講座として終了した後も現在の活動を続けています。現在のサークルの入会者数は19人。第2・第4土曜日の午前9時から正午までの3時間の活動時間のうち、生徒を半分に分けて、時間も1時間30分ずつで活動しています。

完全学校週5日制が始まることで、土曜日が完全に休みになります。華道や茶道、少年少女合唱団など、子どもたちを対象としたサークルがあるということは、ある程度は受け入れ体制が整ってきているのではないかと思います。だから、保護者の皆さんが授業時間が少なくなるからと言って、土曜日に子どもたちを塾に行かせようとする考えはどうかと思います。

完全学校週5日制により、地域のみなさんが子どもたちに積極的に関わって、支えていく体制を整えていくことが必要だと思います。

でも、子どもたちが「休みになるからこのように過ごさない。」と親の方から決めてしまうのではなく、どう過ごしたらいいの子どもたちに考えさせたいと思っています。



角田輝美さん(ベルサークル講師)

完全学校週5日制により、地域が担う役割、責任及びその体制がクローズアップされてきています。市テニス協会では、地域を代表するテニス団体の役割として、子どもたちのスポーツ活動をサポートしていくために、4月からジュニア教室を開催しています。

中学校の部活動については、学校の週5日制に合わせ、改革されることが予想され、硬式テニスの部活動についても、活動の可能性が出てきたのではないかと期待しています。

現在では、20人の小学生がこの教室に参加していますが、今後は、テニス協会としても、指導者が子どもたちに教える指導力などのソフト面、また、コート確保などのハード面の両方の環境を整えていくことが必要だと思います。



幅 裕美さん(ジュニアテニス指導者)



### ジュニアテニス指導者 幅 裕美さん